

政策 1 暮らしを支える快適なまちづくり

1-1 地域核をネットワークする都市整備の推進

施策のめざす姿

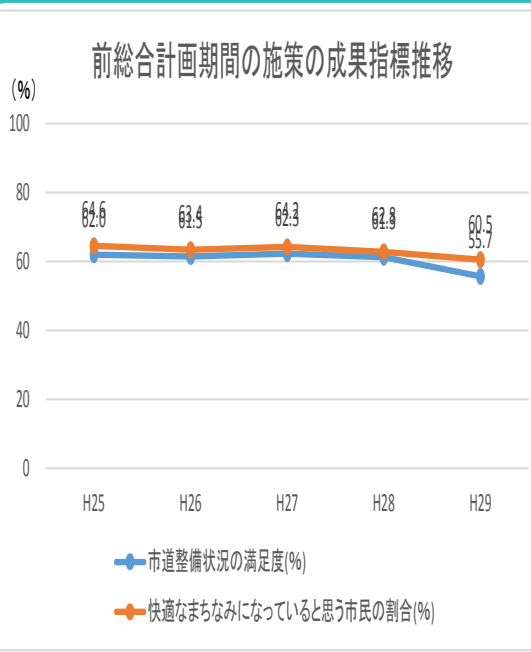
地域核の拠点機能及びネットワークが形成され、利便性が向上します。

施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
都市施設(道路、公園、排水路、駅周辺)の満足度	53.4%	54.0%	都市施設の利便性の向上を図ります。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 国・県道においては、市街地における国道126号とそれに接続する県道の渋滞緩和が、通学路や生活道路では安全に通行できる環境整備が、それぞれ求められています。加えて、成田空港の機能強化に伴い、成田空港方面へのアクセス改善や、産業振興を視野に入れた道路環境の改善が必要となっています。
- ◆ 排水路等を含む道路施設や公園施設については、適正な管理が求められ、定期的な調査や修繕が必要となっています。
- ◆ 駅周辺の市街地については、人口が微減する一方、高齢化が進んでいることから、駅周辺の中心市街地の活性化や、利便性の向上を図る必要があります。その他の地域では、人口減少に伴い増加している空家への対策等を通じて、秩序あるまちなみ形成につなげる必要があります。



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
1重点	道路・橋りょうの整備、適切な維持管理で安全に通行でき、利便性が向上します。	道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	0km	8km	地区要望を踏まえた計画に基づき、着実に事業を推進することで、利便性向上を図ります。
道路網の整備・維持管理		道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	0 件	0 件	定期的な点検や維持補修、機能保全等の対策を行うことで、瑕疵による損害賠償件数 0 件を目指します。
2重点	成田空港周辺地域として共存共栄が図られています。	成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	0 箇所	48 箇所	地区要望を踏まえ計画的に事業を推進し、道路利用者の安全確保と利便性向上を図ります。
成田空港周辺地域としての基盤整備					
3	排水路新設や雨水排水管等により床上浸水が減少しています。	床上浸水件数	0 件	0 件	浸水対策を進め、床上浸水件数 0 件を目指します。
浸水対策の推進					
4重点	駅周辺の利便性が向上します。	駅周辺の利便性に対する満足度	40.8%	43.0%	成東駅南口線整備

政策 1 暮らしを支える快適なまちづくり

1-2 公共交通網の整備・充実

施策のめざす姿

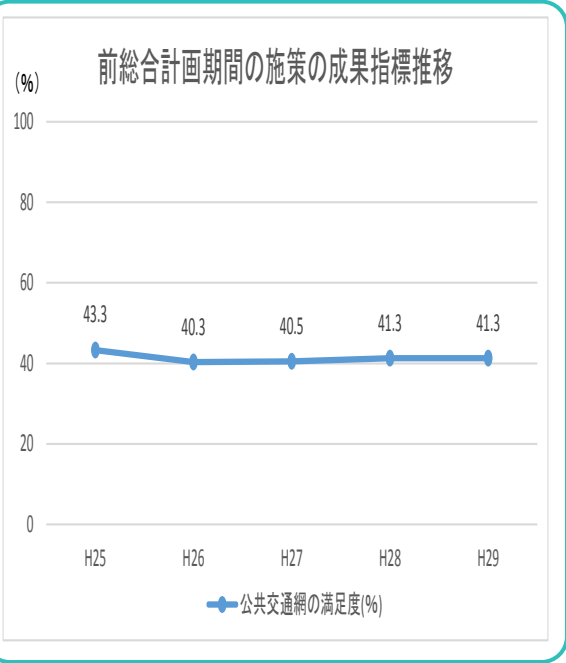
公共交通網が充実し、市民生活における移動の利便性が高まります。

施策の成果指標

指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性
公共交通網の満足度	41.3%	45.0%	既存の公共交通網や基幹バス・乗合タクシーとの連携を進め指標値の向上を目指します。

施策の基本方針（環境変化と課題）

- ◆ 人口減少及び少子高齢化（平成29年4月1日現在、高齢化率31.8%）が急激に進んでおり、日常生活の移動手段がない高齢者が増加傾向にあり、交通弱者の移動手段として公共交通の重要性は大きくなっています。
- ◆ そのため、市内3区域内を運行するデマンド対応の乗合タクシーと、各地域の拠点及び主要施設間を連絡する基幹バスを運行し、持続可能な公共交通の確立を目指します。
- ◆ 本計画期間では、平成30年度に策定した「山武市地域公共交通網形成計画」に基づき、各交通手段の連携と維持向上、より公共交通を使いやすい環境づくりに取り組んでいきます。



基本事業の構成

基本事業名	基本事業のめざす姿	指標名	現状値	めざそう値	成果指標の方向性	
1	市内における交通手段の確保 市内の交通手段が確保され、円滑に移動できます。	市内移動の交通手段に困っている市民の割合	39.7%	35.8%	持続可能な公共交通の確立及び利用促進に取り組むことで、成果向上を目指します。	
市内における交通手段の確保		基幹バスの年間利用者数	47,723 人	48,000 人	利用者ニーズや鉄道等との接続改善に対応することで、利用者数の維持向上を目指します。	
		乗合タクシーの年間利用者数	46,670 人	47,000 人	利用者ニーズを踏まえ確実な運行に努めることで、利用者数の維持向上を目指します。	
		バス運行状況の満足度	36.2%	39.0%	沿線自治体と連携し、民間路線バスの維持確保に努めることで、成果向上を目指します。	
2	バスでの主要都市へのアクセス本数が確保され、利用者が増加します。	東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数	1,270 人	1,332 人	基準値から、対前年比 1%以上の向上を目指します。	
バスでの主要都市へのアクセス向上		成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	91 人	95 人	基準値から、対前年比 1%以上の向上を目指します。	
3	鉄道の本数を維持し、通勤、通学、買い物や余暇などの活動が快適に行えます。	1日当たりの鉄道利用者数	4,841 人	4,605 人	基準値から、対前年比▲1%以内に留めることを目指します。	
鉄道の利便性向上						

